

かわら版  
令和8年1月

# 地域ケア推進会議

発行：燕市 長寿福祉課 地域支援相談チーム



## 【第2回地域ケア推進会議を開催しました】

令和8年1月22日(木)午後1時30分～3時 会場：燕市役所 102・103 会議室

### 1 地域ケア推進会議の委員の交代のお知らせ

この度、総合事業部会2名、認知症支援部会1名の委員の方が退任されましたことをご報告いたします。長らくのご協力、誠にありがとうございました。

部会	退任	新任
総合事業部会	宮腰 誠 委員	大橋 友妃子 委員
総合事業部会	亀倉 彰三 委員	小平 松雄 委員
認知症支援部会	小林 弘子 委員	川島 敏和 委員



### 2 各部会の報告

#### 総合事業部会

- ・「集いの場」の運営における場所・人材・資金・情報の確保が課題。
- ・地域のつながりをベースに無理なく継続できる支援構築が重要である。
- ・地域住民の利用促進を図るため、情報集約媒体を作成する。

#### 在宅医療・介護連携推進部会

- ・在宅看取りにおける医療資源の情報整理が必要。
- ・意思表示の仕組み(DNARプロトコル)に基づいた救急対応の整理が必要。
- ・地域医療連携を強化するための具体的な対応方法を整理、検討する。

#### 認知症支援部会

- ・認知症当事者が集える場所が不足しており、新たな場の創設が必要。
- ・地域に認知症への理解を促していくため、認知症サポーターの活動の促進が必要。
- ・燕市版「認知症希望大使」の創設に向け、活動内容や任命プロセス等を具体的に検討する。

### 3 圏域地域ケア会議の報告

各地域包括支援センター作成の広報誌をご参照ください。

## 4 地域課題の検討

### 【身寄りのない方の支援のためのワーキンググループ活動報告】

#### 1. 金銭管理チーム

身寄りのない高齢者向けの金銭管理に関する課題を検討。

成果	地域包括支援センターの主任介護支援専門員へ権利擁護制度を周知	今後の方針 →	福祉関係者向けの研修会を開催し、制度の理解を深める。
	支援者への実態把握調査		

#### 2. 居住支援チーム

居住支援の実態把握と情報交換を実施。

成果	居住支援法人や庁内関係部署との連携体制構築	今後の方針 →	居住に関する困りごとの相談先や役割を周知するため研修会を開催する。
	市民アンケート調査による住まいに関する課題を抽出		

#### 3. 医療チーム

医療機関との協力体制の構築を目指した活動を実施。

成果	医療機関と情報交換を実施し、課題を抽出	今後の方針 →	相談窓口を明確化し、対応フローの作成・運用を目指す。
	課題から解決策を検討		医療機関からの相談先は、まずは圏域の地域包括支援センターとする。

#### 4. 施設入所チーム

入所困難の実態把握と相談支援体制を強化。

成果	施設関係者向けに情報交換会を開催し、困難事例と解決策を共有	今後の方針 →	施設間で情報交換できる体制をつくり、自主的な情報交換会の開催を目指す。
----	-------------------------------	------------	-------------------------------------

#### 5. 身寄りなしワーキングの次年度の方向性について

- ・今年度の取り組みにより、個別ケースの支援を進める上での対応方法の道筋は見えてきた。関係者が連携できるような体制整備と事例の集積が必要。
- ・必要時は随時ワーキングを開催し、現状の確認や情報共有のうえ協議していく。



#### 【次回会議スケジュール】（後日改めてご案内いたします）



次回  
開催日

地域ケア推進会議	R8.7.31	13:30~	会議室 301
総合事業部会	R8.6.29	13:30~	会議室 102・103
在宅医療・介護連携推進部会	R8.6.19	13:30~	市民交流センター
認知症支援部会	R8.6.25	15:00~	会議室 101・102



発行：燕市健康福祉部 長寿福祉課 地域支援相談チーム

TEL:0256-77-8157 FAX:0256-77-8138